

平成20年度 エコアクション 21

環境活動レポート

平成 21 年 5 月 1 1 日

未来工業株式会社 大垣工場

1 環境方針

1. 未来工業株式会社大垣工場は、地球に対する思いやりを因るため電気設備資材及び給排水設備資材のプラスチック成形を主体とした製造活動を通して、環境への負荷を削減するため、次の事項を重要項目として環境目標を設定し、自主的積極的に取り組み行動致します。

- ① 産業廃棄物の削減
- ② 総排水量の削減
- ③ 二酸化炭素の排出量の削減
- ④ ゴミの分別指導教育と外部セミナーの参加
- ⑤ オフィス用紙の削減
- ⑥ 工場周辺の環境活動

この方針を賜り、全事業員が環境負荷軽減を常に考え、目標に向かって周知徹底を図り推進します。

2. 関連する法規制を遵守し、環境への影響評価を行うと共に継続的な維持改善を図ることを誓約します。
3. 環境活動レポートを自社のホームページに公表し、環境コミュニケーションに取り組みます。

平成 19 年 3 月 14 日

未来工業株式会社 大垣工場
工場長

吉田一明

◆ 環境目標とその実績

当大垣工場は、下記の環境年度目標を立て環境活動行動をしました。

環境目標（重要項目）

取組項目	目標年度	中期環境目標	20年度環境目標
産業廃棄物の削減	20年	17年総量比で3%の削減	17年総量比で3%の削減
総排水量の削減	20年	17年総量比で1.5%の削減	17年総量比で1.5%の削減
二酸化炭素の排出量の削減	20年	17年総量比で1.5%の削減	17年総量比で1.5%の削減

環境の実績

取組項目	単位	17年度	18年度	19年度	20年度	
					実績	17年度 総量比 評価
産業廃棄物の削減 (最終埋立処分量)	t	70.0	32.4	25.2	18.0 前年比評価 28.6%◎	74.2 % ◎
総排水量の削減	m ³	373,251	336,871	216,613	169,477 前年比評価 21.7%◎	54.5 % ◎
二酸化炭素の排出量 の削減	Kg / C O ₂	4,138,379	2,848,273	2,549,738	2,431,758 前年比評価 4.6%○	41.2 % ◎
ゴミの分別教育と外 部セミナーの参加	*回/人	8回/34人	11回/22人	6回/11人	5回/26人	—
オフィス用紙の削減	t	0.462	0.494	0.530	0.470 前年比評価 11.3%◎	+1.7 % ×
工場周辺の環境活動	*回/人	1回/141人	1回/140人	1回/142人	1回/142人	—

評価 ◎：10%以上の大幅達成 ○：0.5%～10%で達成 △：0～05%で未達

×：05%以下未達

重要課題項目の補足

産業廃棄物の削減

まず初めに20年度の産業廃棄物の削減については、18年度より引き続き外部での再利用を徹底するために、さらに細分化を行い、マテリアルリサイクル及びサーマルリサイクル、ケミカルリサイクルの処理先の標準化を図るとともに、生産工程における掛けだし材料ロスを削減しました結果、17年度総量比74.2%（前年比28.6%）と大幅な廃棄物の削減となりました。

総排水量の削減

総排水量について、19年度に引き続きクーリングタワーのリサイクル水の利用により、生産設備の稼働等を見直しを行い、17年度総量比54.5%（前年比21.7%）と大幅な削減となりました。

二酸化炭素の排出量の削減

二酸化炭素の削減については、常用自家発電機撤去後19年度に引き続き、購入電力100%利用において、製造設備の効率的な節電と生産ロットの見直しを行い、17年度総量比41.2%（前年比4.6%）の削減となりました。（削減の大幅な効果は、常用発電機の撤去によるものです。）

◆ 主な活動計画の内容

- ① 産業廃棄物の削減
 - ・ トライ材料の削減
 - ・ 金型トライ回数の削減
 - ・ 歩留まりの確認
 - ・ クレームの削減
 - ・ 再利用可能な分別
 - ・ 材料色見本の見直し
- ② 総排水量の削減
 - ・ 金型の冷却水維持と確認
 - ・ クーリングタワーのリサイクル水効率利用
- ③ 二酸化炭素の排出量の削減
 - ・ 未使用設備の電源遮断
 - ・ 未作業場所の消灯
 - ・ 採光利用の節電
 - ・ 製造設備の点検（電気コンプレッサーの負荷軽減）
 - ・ 省電型設備の導入
 - ・ ライトダウンキャンペーンの参加（広告塔の消灯）
- ④ ゴミの分別指導教育と外部セミナーの参加
 - ・ 職場における会合時の環境勉強会の実施
 - ・ 環境に関するセミナーの積極的参加
 - ・ 環境展示会の積極的参加

- ・ 環境処理施設への視察・見学参加
- ⑤ オフィス用紙の削減
 - ・ 社内LANによるペーパーレス化の推進
 - ・ 裏紙の再使用
- ⑥ 工場周辺の環境活動
 - ・ 工場周辺について全員参加による清掃作業の実施

◆ 環境活動の取組結果の評価

1. 産業廃棄物の削減

製造工程における焼け、色換え等の材料を減らすため、生産段取りを努力しました結果表-1のような結果になりました。

生産性の歩留まりについては、上半期（1～6月）、下半期（7～12月）に大きな差はなく細部に確認しますと、売却と産廃比率（重量比率）で比較しますと少し差があり、射出と押し出しの特性違いがありますが、今後より安定性の良い段取りで廃棄比率を下げる、努力を致したいと思えます。

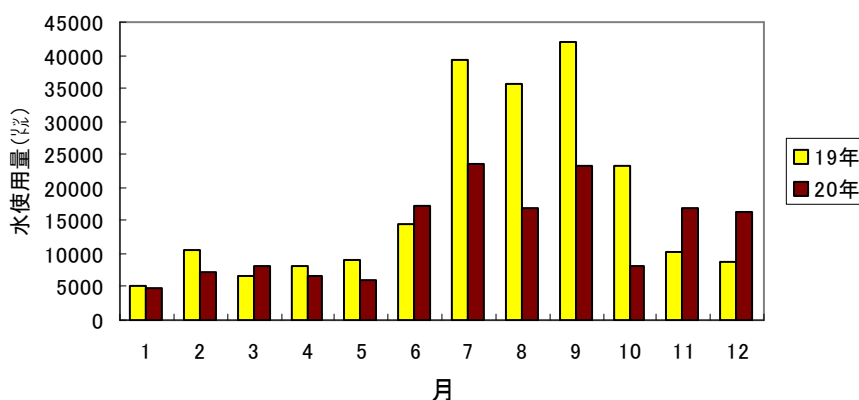
表-1 売却・産廃重量比率

期間	射出成形設備	歩留り	押し出し成形背指	歩留り
上半期 1～6月	売却材：産廃物	97.6%	売却材：産廃物	98.4%
	11：1		1：2	
下半期 7～12月	売却材：産廃物	97.7%	売却材：産廃物	98.4%
	9：1		1：2.7	

2 層排水量の削減

18年にクーリングタワーを設置し、全製造設備のリサイクル水の効率を上げ、20年に入りさらに節水するために水冷却の空調機の撤去入れ替えを行い説水に努めました。

表-2 製造設備冷却水の使用量



表一2からわかりますように、7～10月の期間において、外気温が高いためクーリングタワーの効果がでないためリサイクル水が少なく新水の使用量が増加します。

20年度における排水量の減少は、夏場の外気状態の低い気温傾向がありましたのと、水冷却空調機の撤去及び生産性の横ばい傾向と相乗的な結果、前年比21.7%の削減になりました。

3 二酸化炭素の排出量の削減

20年度における生産において、19年度に同様に生産の横ばい傾向を示し、その結果生産の見直し等を含め、効率化に努めましたが、削減は前年比4.6%の削減になりました

4. ゴミの分別指導教育と外部セミナーの参加

分別処理ルート of 2年目の標準化に伴い、各職場における職場での環境教育を頻度高く実施し、日常の廃棄物の整理が改善され、今後の環境意識を高める事ができました。

5. オフィス用紙の削減

社内LANによるペーパーレス化の充実を図り、全員が共有ファイルを活用出来るようにしてコピー用紙の削減、裏紙再使用に努め、前年比11.3%削減できました。

6. 工場周辺の環境活動

年1回工場周辺の草取り、清掃活動を全員参加で実施しました。

◆ 環境関連法規の違反、訴訟等の有無

適用となる主な環境関連法規の遵守状況

下記の通り法令違反は、ありませんでした。

又、過去3年間にわたり関係機関、地域住民等からの特に指摘はありませんでした。

同様に訴訟等もありませんでした。

環境関連法令項目	内 容	遵守状況	測定結果
騒音規制法	特定施設の設置届、定期的な測定実施	○	○
振動規制法	特定施設の設置届、定期的な測定実施	○	○
水質汚濁防止法	定期的な検査実施	○	○
浄化槽法	保守点検、定期的な検査実施	○	○
輪之内町公害防止協定書	騒音、振動、水質、悪臭 協定書による	○	
消防法	指定可燃物の届出、取扱の届出、指定看板の設置、火報設備、消火器設置の定期点検	○	
廃棄物処理法	契約書、マニフェストの伝票管理 産業廃棄物管理票交付等状況報告書の届出 指定看板の設置、処理施設の視察実施、	○	
PRTR 制度	対象物質の把握、届出	○	
PCB 特別措置法	保管管理中、届出、(処理依頼予約提出済)	○	
RoHs 指令	特定物質の把握	○	
省エネ法	第2種エネルギー管理指定工場	○	

◆当工場の概要

(1) 事業者名及び代表者名

未来工業株式会社 大垣工場 工場長 吉田一明

(2) 所在地

岐阜県安八郡輪之内町楡俣 1695-1

(3) 環境保全関係の責任者

環境管理責任者 大垣工場 課長 高橋 昇

連絡先 電話 0584-68-0017 FAX0584-69-3154

事業内容

電設資材及び住設資材の製造

(5) 事業規模

製品生産額	44 億 8300 万円
主要製品生産量	プラスチック製品 4160 トン
	金属製品 270 トン
	鋳造品 53 トン
従業員数	142 人
工場延べ床面積	19385 m ²